

- 八戸圏域の市町村間を運行する広域路線バス、市町村内の路線バスやコミュニティバスについて、**利用状況等に応じて路線の統合・集約、運行経路や運行ダイヤの見直し**等を図ることにより、運行の効率化と利便性の向上を図る。
- 事業の実施区域が8市町村であり、エリア的にも対象交通モードも多岐に渡り、学校の統廃合や新たな公共施設の整備など、地域によって実情が異なることから、**特性等を踏まえて段階的に事業を実施し、圏域全体の公共交通ネットワークの生産性・利便性を向上**。

## 事業の内容

### ①八戸駅線における最大待ち時間の短縮（八戸市）

八戸駅と中心街間を運行する八戸駅線において、平日・休日の日中時間帯のダイヤ調整を行い、最大待ち時間の短縮を図る。  
 （最大待ち時間 平日：20分→15分、休日：30分→15分）

### ②階上関連路線の見直し（八戸市・階上町）

八戸市と階上町を運行する複数の路線を統合・集約するとともに、沿線地域の移動需要に応じた経路の見直しによる利便性の向上、特に八戸高校への移動機会の増加を図る。

## 事業の効果

### ①主要拠点間の移動の利便性向上

最大待ち時間が短縮することにより、沿線住民のみならず、八戸駅から中心街へ移動する観光客やビジネス客などの移動の利便性向上が図られる。また、更なる利用拡大も期待され、地域公共交通の利用促進につながる。

### ②階上町から八戸市へのアクセス性向上

階上町から八戸市内の各拠点へのアクセスの向上が図られ、地域住民の生活利便性の向上が期待される。特に八戸高校への通学利便性の向上が図られる。

八戸駅線の概要



八戸圏域では、圏域全体での**上限運賃制度**の導入、圏域町村における**運賃100円施策**の展開、圏域全体での**MaaS**の展開、八戸市内での**各種企画乗車券の展開**など、公共交通ネットワークの見直しと並行して、利用促進の取組を進めており、今後も利用者の更なる利便性の向上を推進。



また、**ICカードデータを活用した利用状況の可視化分析システム**の導入を進めており、定量的なデータ分析に基づく更なる利便性・効率性の高いネットワークへの見直しを継続して検討。

- ・作成自治体 青森県八戸圏域（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）
- ・事業実施区域 八戸圏域全体
- ・事業実施予定期間 2024年度～2028年度

最大待ち時間

	平日	土曜	日曜・祝日
旧	10～15時台：最大20分	10～15時台：最大30分	10～15時台：最大30分
新	10～15時台：最大15分 ※5分の短縮	10～15時台：最大15分 ※15分の短縮	10～15時台：最大15分 ※15分の短縮